

左・中：上野廣一画「原敬肖像」、
右：五姓田義松画「原敬大礼服肖像」

アートの 世界の 原敬

原敬記念館
第69回
企画展

—肖像画・風刺画・漫画に見る姿—

令和7年9月13日^土～11月16日^日

原敬記念館小ホール 企画展示コーナー

指定管理者：公益財団法人盛岡市文化振興事業団

原敬記念館

HARA-KEI MEMORIAL MUSEUM

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮4丁目38-25
TEL:019-636-1192 FAX:019-636-1185

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日 (祝日の場合は翌平日)
※11/4(火)は臨時開館、10/28(火)、11/5(水)は臨時休館

入館料 一般 200円 (団体 120円)
小・中学生 50円 (団体 30円)
団体入館料は30人以上の団体に適用します

主催 原敬記念館(所管：盛岡市教育委員会)
公益財団法人盛岡市文化振興事業団
共催 原敬を想う会



原敬記念館

第69回企画展

アートの世界の原敬

—肖像画・風刺画・漫画に見る姿—

令和7年9月13日(土)～11月16日(日)

原敬を描いた肖像画は、岩手県雫石町出身の洋画家・上野廣一^{うののこういち}による大礼服姿の作品をはじめとして、複数の作品が知られています。明治末～大正期には有力政治家として風刺画に描かれ、近年では漫画や小説の挿絵に登場するなど、原敬は時代によってさまざまな姿で表現されてきました。

本展では、原敬と美術界との関わりや、ゆかりのある画家を紹介するとともに、肖像画をはじめとする絵画資料等を展示し、そのイメージの変遷に迫ります。



上野廣一「原敬」 昭和8年(1933)

福聚山大慈寺蔵

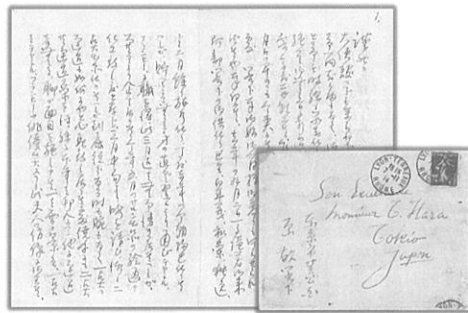
原の支援により渡仏し洋画を学んだ上野による肖像画。



風刺画「とうとう落ちて来ましたね」

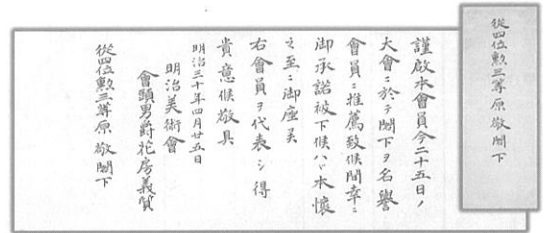
(新聞切抜) 大正7年(1918)

寺内正毅首相が辞任し、総理の座が原に下りてきたことを風刺したもの。



原敬宛上野廣一書簡 大正3年(1914)11月4日

原の支援により渡仏し洋画を学んでいた上野が、第1次世界大戦に巻き込まれた窮状を訴えた書簡。



[原敬宛]名譽會員推薦状 明治30年(1897)4月25日
原が幹事を務めた「明治美術会」からの名譽會員への推薦状。



はら たかし
原 敬

1856～1921

安政3年(1856)2月9日、岩手郡本宮村(現盛岡市本宮)に生まれる。盛岡藩士・原直治の二男。藩校・作人館に学び上京、司法省法学校、郵便報知新聞記者等を経て外務省に入る。やがて政界へ進出、内務大臣等を経て第19代内閣総理大臣となった。日本初の本格的政党内閣を組織した「平民宰相」として支持を集めたが、大正10年(1921)11月4日、東京駅にて兇刃に倒れた。享年65歳。

◆企画展関連講座

演題／原敬を描いた画家たち

講師／渡辺美知(原敬記念館学芸員)

日時／令和7年11月15日(土)13:30～15:00

受付／令和7年10月25日(土)10:00～電話にて先着20人

料金／無料

◆ギャラリートーク

日時／①令和7年10月4日(土)13:30～14:15

②令和7年11月15日(土)15:15～16:00

受付／①令和7年9月13日(土)、②10月25日(土)

いずれも10:00～電話にて先着20人

料金／入館料が必要(②のみ同日開催の講座参加者は無料)

(公財)盛岡市文化振興事業団からのお知らせ

[他館のご案内]

◎盛岡市先人記念館

第19回古町名展「本町かいわい その2」

令和7年9月13日(土)～11月16日(日)

◎石川啄木記念館

※令和7年4月13日より盛岡市玉山歴史民俗資料館との複合施設としてリニューアルオープン

リニューアルオープン記念 詩集『あこがれ』発刊120周年記念

第19回企画展「詩人 啄木の世界」

令和7年11月1日(土)～令和8年2月1日(日)

◎盛岡てがみ館

第75回企画展「拝啓 富田小一郎様 一富田小一郎へのてがみ」

令和7年10月15日(水)～令和8年2月9日(月)

